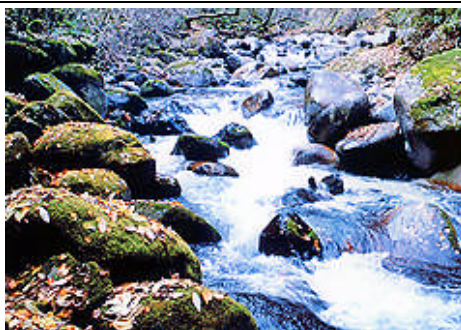


平成24年度に樹立・策定する埼玉計画区の概要(案)

1 現行計画の概要



管内最高峰「三宝山(2,483m)」



荒川源流部「真の沢」の清流

埼玉県



埼玉森林計画区

(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は埼玉県を包括し、秩父市、毛呂山町及びときがわ町に所在する国有林野12千haを対象。

イ 国有林の特徴

当計画区の西部には、秩父山地があり、主な山岳には、天目山、雲取山、大洞山、笠取山、甲武信ヶ岳、三宝山、三国山等があり、中央部から東部へは丘陵地や関東平野が広がっている。

国有林野は、秩父山地を源とする荒川とその支流の源流部に位置し、秩父多摩甲斐国立公園等に指定されている。

また、国有林は首都圏の水がめとして重要な役割を果たしているほか、原生的な天然林や溪谷の美しさ等豊かな森林景観に恵まれていることから、登山、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション等の保健休養の場として多くの人々に利用されている。

ウ 森林資源の状況

- ・人工林が2.6千ha、天然林が9千ha。
- ・人工林(面積割合)は主にスギ10%、ヒノキ42%、カラマツ40%。
21年生~40年生が42%、41年生~60年生が51%となっており、資源が充実しつつあるとともに間伐期を迎えている。
- ・天然林はブナ、コメツガ、シラベ等が生育している。

エ 機能類型別面積

水土保持林が4.4千ha、森林と人との共生林が7.5千ha、資源の循環利用林が0.1千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	2箇所	2,145 ha
緑の回廊	1箇所	6,453 ha

イ レクリエーションの森

該当なし		
------	--	--

ウ 国民参加の森づくり

多様な活動の森		7 ha
---------	--	------

エ 伐採・保育事業量

主伐		6,119 m ³
間伐		37,431 m ³
造林		26 ha
下刈		111 ha
つる切		4 ha
除伐		- ha

オ 林道の事業量

林道開設	路線	m
林道改良	4路線	580 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工		14箇所
保安林整備		216 ha



天然シラベ(森林生物遺伝資源保存林)



2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめ公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の取扱いに反映。
- (3) ニホンジカ等の獣害対策。
- (4) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安網の整備を計画的に推進。
- (6) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業等の普及による間伐材の利用の推進。

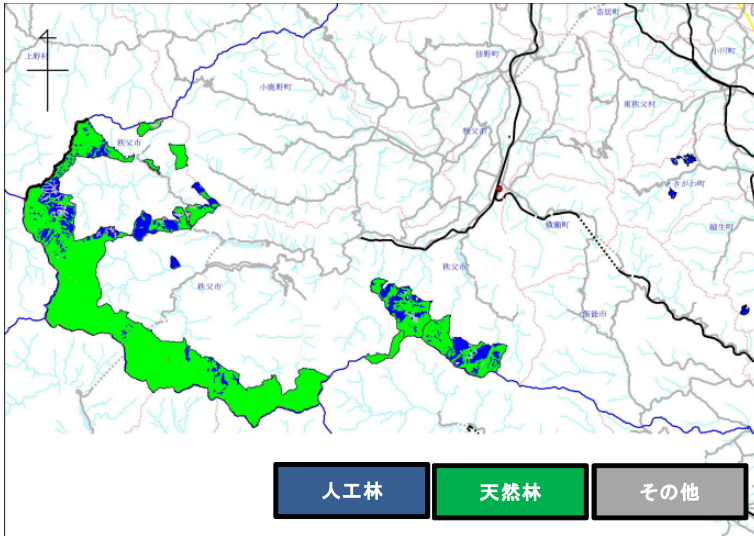
市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
秩 父 市	57,769	50,586	11,891	88	24
毛 呂 山 町	3,403	1,472	25	43	2
と き が わ 町	5,577	3,920	70	70	2
計	66,749	55,978	11,986	84	21

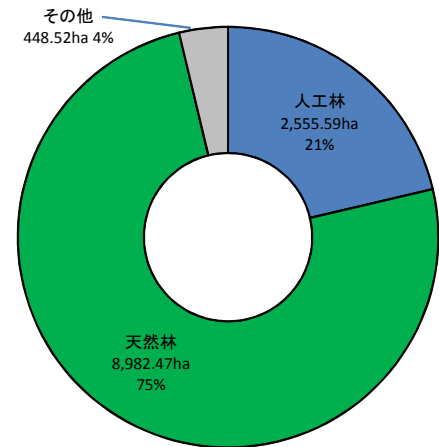
- 注) 1. 市町村面積は国土地理院公表値による。
 2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

人工林・天然林

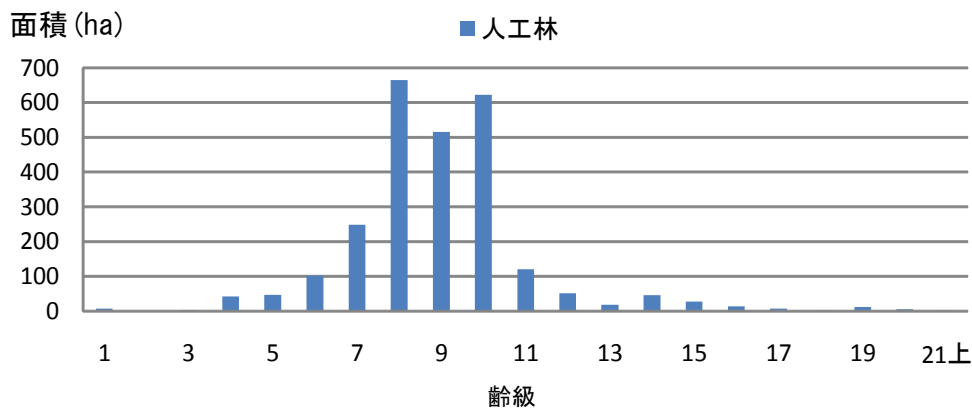
人工林・天然林の分布状況



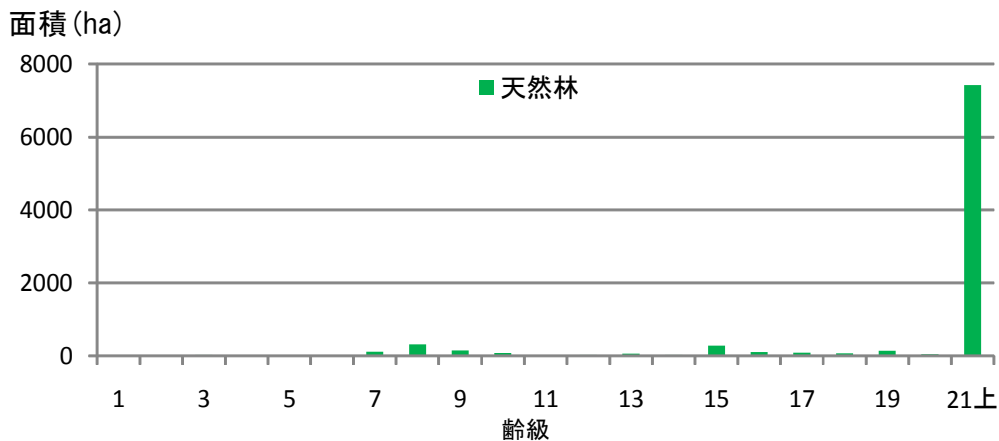
人工林・天然林別割合



齢級別面積



人工林の齢級別では8齢級（36年生）～10齢級（50年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。



天然林は、地域の森林生態系を構成する種として適切に保存します。

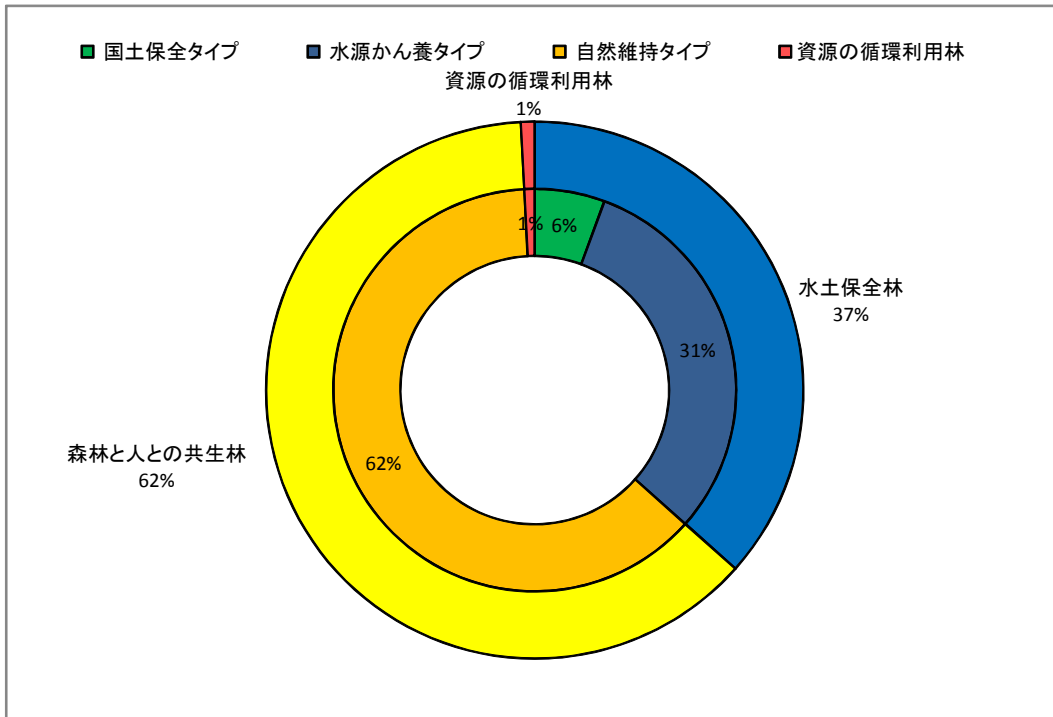
機能類型

機能類型区分について

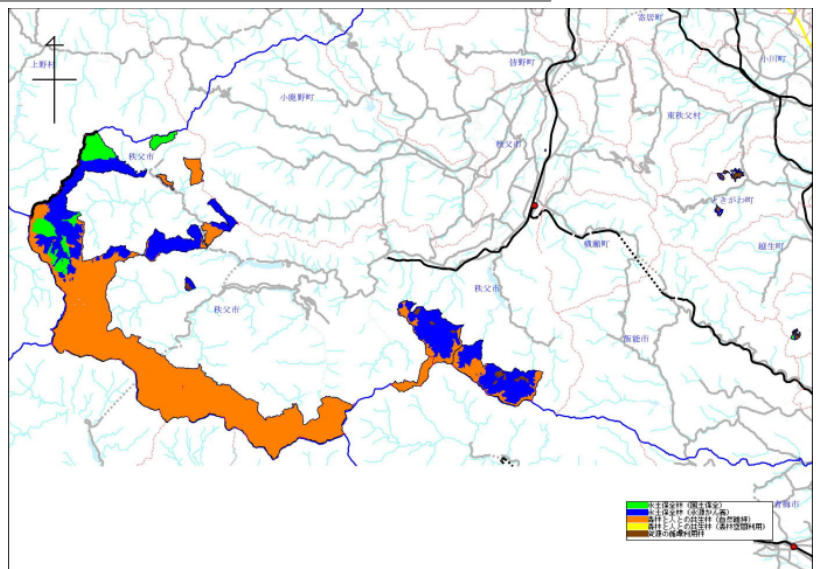
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

当計画区の機能類型は、水土保持林37%、（国土保全タイプ6%、水源かん養タイプ31%）、森林と人との共生林62%（自然維持タイプ62%）、資源の循環利用林1%となっています。



- 水土保持林(国土保全タイプ)
- 水土保持林(水源かん養タイプ)
- 森林と人との共生林(自然維持タイプ)
- 資源の循環利用林



レクリエーションの森概要

該当なし

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。

フィールド提供

種類	名称	面積 (ha)
多様な活動の森	中川の森	1
〃	ツキノワの森	4
〃	三境の森	2

【多様な活動の森】

森林の保全を目的とした美化活動、自然観察等の場として設定する。

